

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立可美小学校学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

よりよい学校運営を推進していくために、学校のニーズを知り、ボランティアの募集、連絡調整、情報発信など、学校と地域との連携を強化する方策を検討する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

可美小学校学校運営協議会も3年目ということもあり、学校の基本方針についての理解が深まり、学校教育目標やそれに沿った活動についても理解・共有することができた。また、校長の示した可美小学校グランドデザイン「明日、また来たくなる学校」の趣旨に賛同し、意見を交わすことができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

委員の実体験に基づいた意見や助言が多く述べられ有意義な熟議ができた。委員が、それぞれの立場で、どんな支援ができるのか、真剣に考えることができた。学校の課題やニーズについて、地域での協力体制や今後の対策の可能性について、有意義な話し合いができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

ブログや便り等での情報発信だけでなく、運営協議会のメンバーがそれぞれ、所属する組織で話し合った内容について、報告したり、話題提供したりすることも有効であると考えた。PTAや自治会、民生委員の会合で情報発信したことで、協力の輪が広がっていることを実感した。今後も継続したい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 地域住民への情報発信強化
- ボランティア等地域社会との連携による学校支援体制の拡充